

揖斐農林事務所の普及活動状況 令和4年1月31日現在

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■法人の経営支援 農業経営者サポート事業

アグリチャレンジ支援センターが実施する農業経営者サポート事業を(有)サポートいびが活用し、1月11日に面談が行われた。

株式会社ビッグアームの講師による経営診断が行われ、経営状況や方針等の聞き取りや質疑応答が活発に行われた。

診断結果は、後日レポートとしてまとめられる予定。農業普及課では、診断結果を踏まえ、法人の経営安定に取り組んでいく。



【経営診断の様子】

安心で身近な「ぎふの食」づくり

■GAP取組支援 ぎふ清流GAP

農業普及課は1月14日にぎふ清流GAPに取り組む(農)遠藤農園の模擬審査を行った。必要書類や現地を確認を行ったが、法令違反などの重大な指摘事項はなかった。今後は、2月の審査に向け、不足している資料の整理を農業普及課が支援していく。

揖斐管内では、(農)遠藤農園を含む4経営体が1～2月にかけてぎふ清流GAPの審査を予定している。農業普及課では、高評価に向けた支援や審査後のフォロー等引き続き行っていくとともに、管内のGAP取り組み拡大に向けて、関係機関と連携しながら支援を行っていく。



【模擬審査の様子】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■かき・大野町かき振興会 早秋・太秋の剪定講習会の開催

1月15日に大野町かき振興会会員を対象に、早秋・太秋の剪定講習会が大野町内柿生産者のほ場で開催され、約40名が参加した。

農業経営課農業革新支援専門員が講師となり、実際の剪定作業を交えて、品種特性を考慮した剪定のポイントについて説明を行った。生産者は自分が行っている剪定と比較し、再確認をした様子であった。

農業普及課からは、資料を基に今年の早秋・太秋の生育状況と障害果実発生対策等について情報提供を行った。



【剪定講習会の様子】

■茶 (農) 桂茶生産組合 ASIAGAPシャドー審査

1月12日に(農)桂茶生産組合工場においてASIAGAPにおけるシャドー審査が開催された。

シャドー審査とは、ASIAGAP認証団体における内部監査のことである。

組合の内部監査担当者が生産者一人ひとりに対してGAPの取り組み方について聞き取りし、生産者が管理している書類について確認を行った。また現地巡回も行い、GAPにおける茶栽培について確認、周知徹底を図った。

農業普及課では、引き続き国際基準であるASIAGAPへの取り組み支援を継続していく。



【シャドー審査の様子】

■フランネルフラワー 春の出荷に向けほ場巡回開催

1月18日に農業普及課、農業経営課及び農業技術センターで、フランネルフラワーのほ場巡回を行った。フランネルフラワーの春出荷は例年3月頃からで、本格出荷に向け生育状況等を確認した。

フランネルフラワーは、作期分散により、周年出荷が可能となっている。揖斐地域では、秋冬作は12月末まで出荷し、春は3月から5月にかけての出荷となる。新型コロナウイルスの感染拡大により、需要の予測が難しくなっているが、岐阜県オリジナル品種で特徴のある花のため、有利な販売が期待される。



【現地巡回の様子】

■いちご 岐阜県いちご共進会地方審査を実施

岐阜県いちご共進会は、優良生産者の表彰により県内生産者の栽培技術改善、品質向上、経営の合理化を図ることを目的に、毎年開催されている。

揖斐管内では、今年6戸の意欲ある生産者が推薦された。1月31日に推薦者のほ場にて、揖斐農林事務所長を審査員長として、関係機関からなる地方審査員が、生育状況や管理技術などの項目について、審査を行った。

今後、県審査、実物審査や出荷・販売審査を経て、6月頃に最終的な審査結果が発表される。農業普及課では、共進会を機に優良生産者の技術が地域に波及し個々の経営発展や産地振興につなげていけるよう関係機関と連携しながら支援を行っていく。



【現地審査の様子】